



今月の記事

ライフヒストリー

近ごろの愛の園

日曜礼拝

リレーエッセイ

5～6月の予定



「ライフヒストリーから学ぶこと」

居宅介護支援事業管理者
崎山賢士

今年も2月に関西国際大学の学生たちがワークキャンプのためにやってきました。今回の活動の目玉は入居されている方々の「ライフヒストリー」を聞き書きし、それをまとめるという取り組みです。ライフヒストリーとは入居されている方の出生から現在までに影響を及ぼしている過去の生活における様々な出来事のことです。

普段、ケアワーカーをはじめ入居されている方々を支援している職員たちはこのライフヒストリーをご本人やご家族から聞き取り、より良いケアの実践に活かしています。特に認知症の方のケアを行うためには欠かせないものです。認知症の方のほとんどは病気のために「今」を認知することが苦手ですので、「過去」に体験したことや感じたことを頼りに「今」を生きているといっても良いでしょう。ですから、「今」の言動や感情が混乱しがちなのです。この混乱を理解するためには丁寧にライフヒストリーを紐解きながら、ケアする人たちがそれらを共有することが

大切なのです。それは、結果としてケアの基本である「個性」の尊重に繋がっていきます。

また、ライフヒストリーを紐解くということ自体入居者の方々の支援に繋がります。入居者の方のライフヒストリーの「物語」だとすると、たくさん語られるエピソードは強調したいクライマックスなのかもしれません。時間軸に沿って「物語」をとらえながら紡ぐ過程で、これらを大切に扱うことは入居者の方の「生きる」ことを肯定していくことに等しいのです。

今回の学生たちの取り組みでは、ただたどしい学生たちの質問に対して、いきいきと自身の「物語」を語る入居者の方々の表情が印象的でした。

後日、学生たちがまとめたライフヒストリーの冊子が届きました。学生たちもその「物語」がもつパワーを得て、これから彼、彼女たちが作っていく「物語」に少なからず作用していくのではないかと思います。



8ユニットのテーブルに四葉のクローバーが飾ってありました。建物南側の草地で見つけたそうです。皆さんが幸せでありますように！

近ごろの愛の園 あんなこと、こんなこと



今年も入居者とボランティアの皆さんのお手伝いで170個のイースターエッグを準備し、16日のイースター礼拝の後に配りました。 4/15



唱歌や童謡を歌う「やまびこ会」はいつも大盛況です。毎週木曜日の午前中、2階ホールでボランティアの皆さんによって行われています。 4/20



こちらも人気の活動「ヨガ教室」です。毎週月曜日の16時から、ヨーガ療法士の山本たかお先生がボランティアで指導をさせていただきます。 4/24



毎年2回行っている入居者の皆さんの健康診断。この日は朝から看護職員が総出で全ての入居者の皆さんから採血させていただきました。 5/2



新宮聖公会牧師
司祭 三浦恒久

一緒に日曜日の礼拝を！



はじめまして。司祭の三浦恒久と申します。4月から毎月第4日曜日に、愛の園のみなさまと一緒に、礼拝をさせていただくことになりました。とてもうれしいです。

わたしには「あこがれ」があります。「イエスさまに、会いたいなあ。」という「あこがれ」です。「ええ？ 牧師なのに、まだイエスさまに会っていないの？」とびっくりされる方がおられるかもしれません。実はそうなのです。わたしは顔と顔を合わせて、まだはっきりとイエスさまに出会っていないのです。鏡に映ったものをおぼろに見ているにすぎないのです。いつかきっと、顔と顔を合わせて、イエスさまと出会えることを楽しみにしています。

イエスさまは、いつでも、どこでも、どんな時でも一緒です。でも、わたしたちの目がさえぎ

られていて、イエスさまとは分かりません。わたしたちが礼拝をささげるとき、その真ん中にイエスさまがおられます。その証拠に、わたしたちの心が暖かくなっていくではありませんか！

「イエスさまに、会いたいなあ。」という「あこがれ」をもって、一緒に礼拝をささげてください。



ケアマネジャーに合格しました！

ケアワーカー
吉本さやか

介護保険制度改正に伴い、介護支援専門員試験も変わりその後の実務者研修も今までの倍の時間に変更されました。12月から研修が始まり、間に実務実習が加わりようやく4月で終了しました。

勤務との両立・健康管理が大変でしたが、同じユニットを始め愛の園の職員の温かい励ましの言葉や勤務調整などの手厚い配慮のおかげで無事終了することが出来ました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

試験勉強は通勤時間の車中で聴く好きな音楽CDを泣く泣く止め、本屋さんで見つけた専門書に付いていた問題の解説CDを半年間聞いていました。自宅での勉強は問題集を初めに解答・解説から読み、それを理解し、その後問題を読む、というのを繰り返し、最終には普通に問題を解く、というOさん方式で勉強しま

した。そうすると問題を間違ったときに勉強するのが嫌いになるので、そうならないように進めることが出来るそうです。その他はどのような言い回しで問題が出題されても解答できるように、いくつかの出版社の問題集を解き漁りました。最後まで自信がなかったのですが、今思えば車中で音楽を聴くように聞き流すことが脳裏に残り良かったのかなと思っています。しかし一番の勉強法は、解らないことは「添削先生」のような何でも聞いて、何でも親身になって堪え一緒に考えてくれたユニットの先輩がいてくださったことです。心強かったです。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック 
<https://www.facebook.com/shinai.or.jp>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

5～6月の愛の園

- 10(水) 苦情解決第三者委員・担当者会
- 11(木) やまびこ会
- 12(金) ネイルアート
- 13(土) ウェスタンリーグ阪神戦観戦
- 14(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 15(月) ヨガ教室 マッサージ
- 18(木) やまびこ会
- 21(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 22(月) ヨガ教室
- 23(火) マリア会
- 24(水) 歯科診療
- 25(木) やまびこ会
- 28(日) 礼拝(聖餐式)
- 29(月) ヨガ教室
- 1(木) やまびこ会
- 4(日) 礼拝(聖餐式)

編集者から

『介護従事者による虐待件数は前年度から36%増の408件に』
2015年度の高齢者虐待に関する厚労省の調査結果を紹介する記事の見出しです。相談・通報件数、虐待と認められた件数も過去最多を更新した、という残念な結果となりました。特養など介護施設では心理的虐待の割合が他の事業より高い、という結果も示されました。
虐待の原因として多いのは「教育・知識・介護技術等に関する問題」(66%)や「職員のストレスや感情コントロールの問題」(27%)となっており、働く職員の性格や資質の問題を大きく上回っています。
職員が安心して落ち着いて働ける環境作りがなにより虐待の防止に繋がることを肝に銘じて事業所全体で努めてまいります。(A)